

資料提供	
令和2年1月20日	
担当課 (担当者) 電 話	教育人材開発課 (津村、漆原) 0857-26-7577

令和元年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者の決定

このことについて、下記のとおり決定されましたので、お知らせします。

記

1 教育者表彰（文部科学大臣表彰）について

学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ、これを文部科学大臣が表彰するもの。

2 被表彰者（3名）

寺谷 英則（てらたに ひでのり）（59歳）（倉吉市立東中学校長）

御船 齋紀（みふね よしただ）（60歳）（鳥取県立倉吉東高等学校長）

山本 正史（やまもと まさし）（60歳）（米子市立後藤ヶ丘中学校長）

3 功績等

別紙のとおり

4 表彰式

日時：令和2年1月28日（火） 午前11時20分から

場所：日本消防会館（東京都港区虎ノ門2-9-16）

【別紙】

令和元年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者

ふりがな 氏名	てら たに ひで のり 寺 谷 英 則	年齢	59歳
職名	倉吉市立東中学校長		
主な功績	<p>平成28年4月から、鳥取県教育委員会事務局教育次長として、鳥取県教育振興基本計画における基本理念「自立して心豊かに生きる 未来を創造する 鳥取県のひとづくり」の実現に向け、県民との協働による計画の推進を行った。特に、教育の質の向上を図るため、校内におけるOJTの体制づくりを進めた。</p> <p>平成30年4月には倉吉市立東中学校長に着任し、教育行政の経験をもとに、生徒一人ひとりを生かす授業の創造と学力の向上を目指し、学習指導と学級経営の一貫性を図る学校運営を行っている。教育活動においては、主体的学習の方法原理を日常の教育活動に取り入れるほか、生徒の自主的活動を支援し、自ら求め学び助け合う態度の育成に資する施策を進め、このことは保護者や地域の認めるところとなり、学校体制をますます強固なものとした。</p> <p>平成30年10月に開催された第69回全日本中学校長会研究協議会鳥取大会においては、大会実行副委員長の一人として大会運営を補佐し、県内外から高い評価を受けた。</p>		

ふりがな 氏名	み ふね よし ただ 御 船 斎 紀	年齢	60歳
職名	鳥取県立倉吉東高等学校長		
主な功績	<p>平成27年4月から鳥取県教育委員会事務局参事監兼高等学校課長として、スクラム教育による中高連携、特別支援教育の充実、英語、ICT、手話によるグローバルマインドとコミュニケーション力の育成に力を入れ、次代を担う人材育成に努めた。また、近畿高等学校総合文化祭室長として、本県で初めて開催された近畿高等学校総合文化祭の成功に貢献した。</p> <p>平成28年4月からは、鳥取県立鳥取中央育英高等学校長として、校訓に基づく人間力の育成をすべく全職員とともに全力を傾注した。</p> <p>平成30年度からは、鳥取県立倉吉東高等学校長として優れた教育的見識と卓越した指導力を持って学校経営にあたっている。特に、単位制の導入、55分授業カセット方式、探究活動の導入など普通科高校の運営において発揮した手腕には目を見張るものがある。</p> <p>令和元年度には、鳥取県高等学校長協会長としてもリーダーシップを遺憾なく発揮し、鳥取県高等学校の発展に寄与している。</p>		

ふりがな 氏名	やま もと まさ し 山 本 正 史	年齢	60歳
職名	米子市立後藤ヶ丘中学校長		
主な功績	<p>平成23年4月から鳥取県教育委員会事務局小中学校課長として、先見性のある教育理念と秀でた指導性を発揮し、鳥取県教育全般にわたり指導手的役割を果たした。市町村教育委員会との連携を図り、全国に先駆け、小中学校の全学年少人数学級の導入を実現する等、その充実・発展に大きく貢献した。</p> <p>平成25年4月からは米子市立加茂中学校長として、人権教育を柱に据えた心の教育に力を入れ、安心安全な学校づくりに取り組んだ。</p> <p>平成29年4月からは米子市立後藤ヶ丘中学校長として、目指す学校像に「生徒が誇りに思える学校」を掲げ、夢や目標に向かって行動し、お互いを大切に思いやりあふれた学校となるよう教職員をまとめ、その実現に向け、日々尽力している。また、新学習指導要領の全面実施に向け、主体的・対話的で深いまなびの実現に向けた授業改善を推進し、校内のみならず米子市教育の発展に大きく貢献している。</p> <p>令和元年度には、米子市中学校長会長として、市内中学校長をよくまとめ、将来を展望した中学校教育のあるべき姿を追求している。</p>		

※年齢は令和2年1月28日時点